

都筑リビングラボ

例え困難を抱えていても誰もがいきいきと学び働ける枠組みづくり

①コミュニティ連携

- ・ICTを活用したコミュニティ情報の集約(横の連携)
- ・誰でも参加できる対話の場づくり
(都筑リビングラボそのものが居場所)



②東京都市大学情報デザイン研究室との連携



- RaspberryPi Arduinoなどを活用したIoT 電子工作
 - 3Dプリンターを使ったモノづくり
- 生きづらさサポートツールの開発
協働による学び&プロダクトデザイン
情報デザイン・コミュニティデザインの
ノウハウ

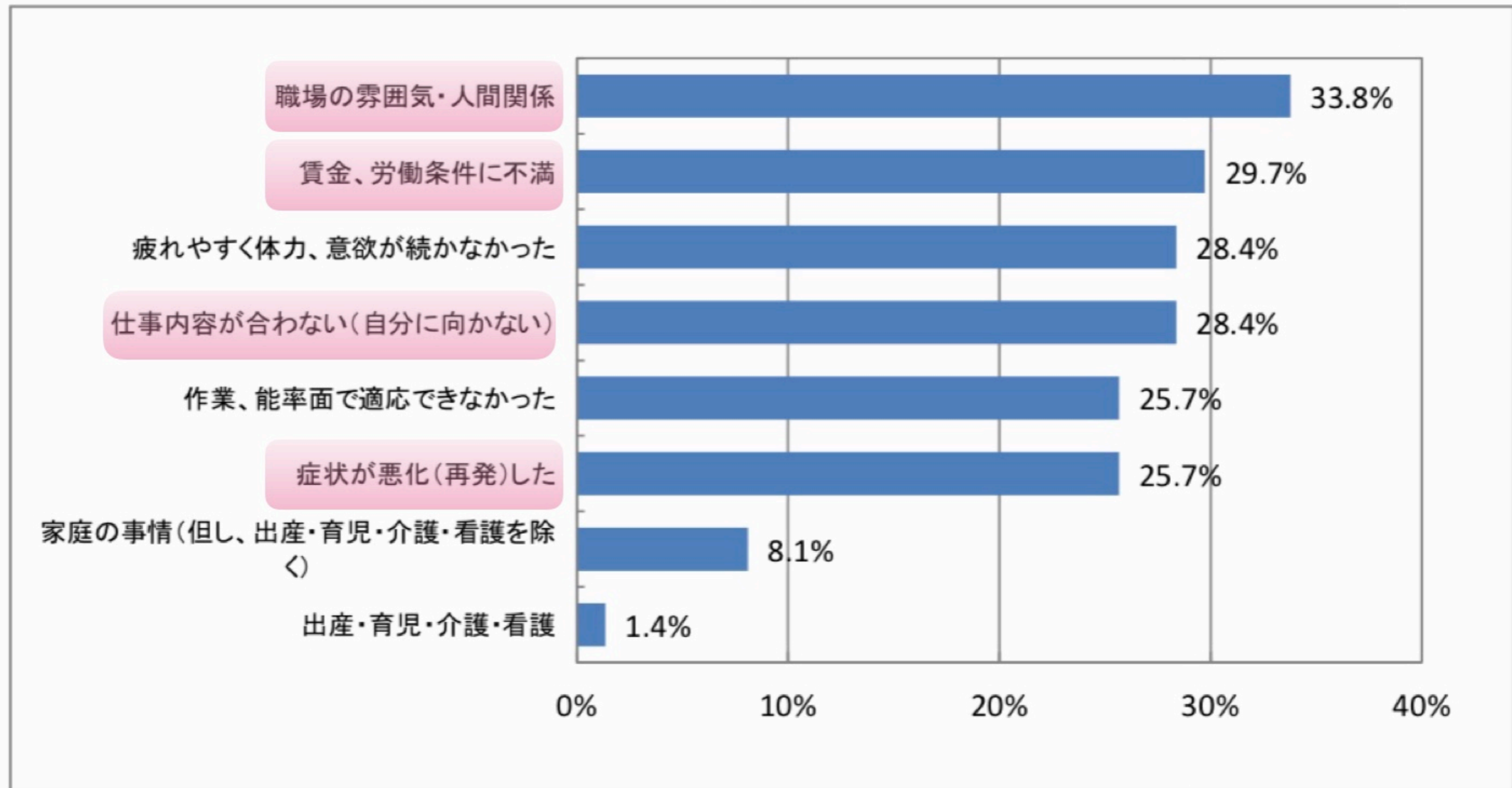
平成28年度平均工賃（賃金）

施設種別	平均工賃(賃金)		施設数 (箇所)	平成27年度(参考)	
	月額	時間額		月額	時間額
就労継続支援 B型事業所 (対前年比)	15,295円 (101.7%)	199円 (103.1%)	10,434	15,033円	193円
就労継続支援 A型事業所 (対前年比)	70,720円 (104.3%)	795円(103.4%)	3,385	67,795円	769円

障がい者就労の現状

決して努力に見合うとは言えない対価

図 8-3 個人的理由の具体的な内容（複数回答）



精神障がいを抱えて働くことの難しさ
社会の包容力や理解の乏しさ

③対話による働き方カスタマイズ

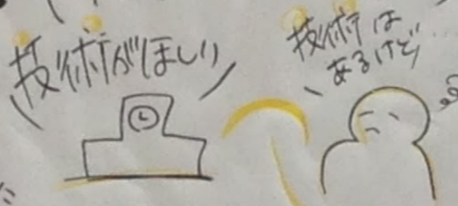


- 対話によって秘めたる可能性を活かす働きを共創
- SDGsの努力目標
- アプリなどICTの活用

8.14 都筑L.L ネットワーク会議

◎ 大学との連携は可能か? (TCU ↔ ジンさん)

↳ TCUだけでなく他の大学企業とも!!
プラットフォームが必要



市民共同(協働)の
ピアへの知識のなせ

インターフェース

Key → 気が知れるコト!
PLAN: プログラムを少しづつ実行。

WIN-WIN

ex 当事者のことを理解する(しもえる)

- ・ノウハウ
- ・技術
- ・就業者が増える

目的 ▷ ACN といのちの木ですめよう!! (10月中)

いきいき働くために... X 型にはめる

もっと自由な働き方になるよう X なしくみ

得意・テコボコ

当事者意識は(社会が)持たせている。

Next → 9.26 夕方
Future セッション

困難をかかえる方
からの声か
- 届かなくて!!

当事者
cop 技術

ACN-MPO
10/10/2017

これが「誰か」に「つながる」
市場価値が高まるほど
就労につながる

直接のコミュニケーション
が必要 (70%)
自分の(し)がかりを
考えてみる

都筑リビングラボ

多様な主体がフラットな関係性で議論できる、この対話の場こそアクティブラーニングの絶好の機会